

書窓

Shoso

No.343

2013.9

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鶴
1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

我が読書記録をふり返って

本とわたし

324

寺田 喜則

私の読書遍歴を記せばざっと以下の様になる。最初は、第二次世界大戦の敗戦による、多数の満州に残された開拓民の悲惨な引揚げの記録。足の弱い老人婦人子供の脱落と、更には集団自決といった手記や証言集を読んで、読むに耐えない恐怖を覚えた。我が少年期に起きた全国民の嘆きと悲しみの数々を求めて読み漁った。大岡昇平の『レイテ戦記』を読んだショックは忘れられない。東京裁判に関しても何冊か読んだが、まだ読んで日の浅い、山崎豊子の『二つの祖国』は小説形式に構成されていて判り易い。広田弘毅が民間人として唯一絞首刑になったのが、私には大きな疑問として残っている。山崎豊子には、更に『大地の子』という、この大戦によって一家離ればなれになり、中国人に養われる明と暗、涙なしには読めない大作もあり、一読をお薦めしたい。

山に関しては深田久弥の『日本百名山』が簡潔で面白い。私は何度も読んだ。山に関する本

は自分も一緒に登っている気分を味わえる。

時代小説では山岡荘八、山本周五郎、藤沢周平、吉川英治、中里介山、司馬遼太郎、松本清張、池波正太郎、名前を並べればキリがない。

腹がよじれる程笑ったのは、高島俊男の「お言葉ですが…」シリーズだ。ちよつとした言葉尻を捕えて変な日本語と突っ込む手口は痛快である。しかし立派な紳士が皮肉を言うのは勇氣のいること。さすがは高島先生と感心するが、正しい日本語を守る為の愛の鞭と評すべき。

私は本来が不器用で、人前でしゃべったりは絶対に不可能です。せめて本を沢山読んで知識を身に付けたいと思うのだが、何事によらず世の中そう思う通りには廻らない。無限に近い蔵書の中から好みの本を探すのは楽しくもあり苦しくもある。何故なら少し背伸びした気持がいたずらして借りる本も時にあり、学力も無いのに四苦八苦すること無きにもあらず。人は考える輩である、と誰かの名言あり。命ある限り進歩前進こそ生きている証と念ずる日々でありたい。

(龍田)

新着図書紹介(ノン・フィクション)

2013. 9

書名	著者	出版社	請求記号
「大東亜戦争」期出版異聞『印度資源論』の謎を追って	小谷 汪之	岩波書店	023.1
仏像歳時記	關 信子	東京堂出版	186.8
時代劇の見方・楽しみ方 時代考証とリアリズム	大石 学	吉川弘文館	210.5
血盟団事件	中島 岳志	文藝春秋	210.7
庶民たちの朝鮮王朝	水野 俊平	角川学芸出版	221
ガガーリン 世界初の宇宙飛行士、伝説の裏側で	ジェイミー・ドーラン	河出書房新社	Bガガ
世界文化遺産富士山のすごいひみつ100		主婦と生活社	291.5
天国の国境を越える 命懸けで脱北者を追い続けた1700日	李 学俊	東洋経済新報社	302.2
いま、「憲法改正」をどう考えるか	樋口 陽一	岩波書店	323.1
今を生きる高齢者のための法律相談	遺言・相続・財産管理支援センター	民事法研究会	324
アベノミクスの危険な罠 繰り返されるマネーの暴走	北岡 孝義	PHP研究所	332.1
忘れられない日本人移民 ブラジルへ渡った記録映像作家の旅	岡村 淳	港の人	334.4
初速思考 30代で一気に突き抜ける人の集中戦略	金田 博之	日本実業出版社	336
勉強するのは何のため? 僕らの「答え」のつくり方	苫野 一徳	日本評論社	370.4
「山月記」はなぜ国民教材となったのか	佐野 幹	大修館書店	375.8
混浴と日本史	下川 耿史	筑摩書房	383.6
猿まわし被差別の民俗学	筒井 功	河出書房新社	384.3
すごい宇宙講義	多田 将	イースト・プレス	440
空を見上げたくなる本 お天気読みになるための10カ条	山本 光義	技報堂出版	451
やわらかな生命	福岡 伸一	文藝春秋	460.4
海藻 海の森のふしぎ	横浜 康継ほか	LIXIL出版	474
クモはなぜ糸をつくるのか? 糸と進化し続けた四億年	レスリー・ブルネッタ	丸善出版	485.7
食べられないために 逃げる虫、だます虫、戦う虫	ギルバート・ウォルドパウアー	みすず書房	486
「老年症候群」の診察室 超高齢社会を生きる	大蔵 暢	朝日新聞出版	493.1
長生きしたけりゃ、腸は冷やすな	松生 恒夫	主婦の友社	493.4
美肌の科学	福井 寛	日刊工業新聞社	494.8
間違いだらけの高齢出産	吉村 泰典	新潮社	495.5
うつ病の人の職場復帰を成功させる本		講談社	498.8
世界の技術を支配するベル研究所の興亡	ジョン・ガートナー	文藝春秋	547
軍艦島入門	黒沢 永紀	実業之日本社	567
こどものパンツとスカート		日本ヴォーグ社	593.3
編んで楽しい、毎日着たいニットのふだん着	michiyo	文化出版局	594.3
ポリ袋のお漬物レシピ131 野菜をおいしく使いきる!	岩崎 啓子	主婦の友社	596.3
料理帖掛保乃糸		ワニブックス	596.3
おうちで育てる、手づくりハーブコスメ	高浜 真理子	誠文堂新光社	617.6
保健所犬の飼い主になる前に知っておきたいこと	片野 ゆか	新潮社	645.6
ハモの旅、メンタイの夢 日韓さかな交流史	竹国 友康	岩波書店	662.2
最後の版元 浮世絵再興を夢見た男・渡邊庄三郎	高木 凜	講談社	721.9
山里に描き暮らす	渡辺 隆次	みすず書房	723
尊厳の芸術 強制収容所で紡がれた日本の心	デルフィン・ヒラスナ	NHK出版	750
アンティークディーラー 世界の宝を扱う知られざるビジネス	石井 陽青	朝日新聞出版	756.8
aとtheのココロ 英語のものの表し方がわかる	テルキ・デイブ	学研教育出版	835.2

書名	著者	出版社	請求記号
正妻 (上・下) 慶喜と美賀子	林 真理子	講談社	ハヤ
水を抱く	石田 衣良	新潮社	イシ
法服の王国 (上・下) 小説裁判官	黒木 亮	産経新聞出版	クロ
問題物件	大倉 崇裕	光文社	オオ
罪なき者よ、我を撃て	渡辺 容子	講談社	ワタ
政と源	三浦 しをん	集英社	ミウ
海賊女王 (上・下)	皆川 博子	光文社	ミナ
ランチのアッコちゃん	柚木 麻子	双葉社	ユズ
こんなにも優しい、世界の終わりがた	市川 拓司	小学館	イチ
無垢の領域	桜木 紫乃	新潮社	サク
たったひとつの花だから	新堂 冬樹	中央公論新社	シン
花や咲く咲く	あさの あつこ	実業之日本社	アサ
動員時代 海へ	小川 国夫	岩波書店	オガ
ミスレス	篠田 節子	光文社	シノ
その青の、その先の、	椰月 美智子	幻冬舎	ヤズ
ぶらりぶらこの恋	吉川 トリコ	幻冬舎	ヨシ
エストロゲン	甘糟 りり子	小学館	アマ
すなまわり	鶴川 健吉	文藝春秋	ツル
恋歌	朝井 まかて	講談社	アサ
月神	葉室 麟	角川春樹事務所	ハム
三途の川で落しもの	西條 奈加	幻冬舎	サイ
姉川の四人 信長の逆切れ	鈴木 輝一郎	毎日新聞社	スズ
刺客どくろ中納言 天下盗り、最後の密謀	岡田 秀文	幻冬舎	オカ
夢も定かに	澤田 瞳子	中央公論新社	サワ
喧嘩猿	木内 一裕	講談社	キウ
七色の毒	中山 七里	角川書店	ナカ
アナザーエピソードS	綾辻 行人	角川書店	アヤ
疫神	川崎 草志	角川書店	カワ
アクティブメジャーズ	今野 敏	文藝春秋	コン
代官山コールドケース	佐々木 譲	文藝春秋	ササ
襲名犯	竹吉 優輔	講談社	タケ
Sの継承	堂場 瞬一	中央公論新社	ドウ
離れ折紙	黒川 博行	文藝春秋	クロ
北の街物語	内田 康夫	中央公論新社	ウチ
ライオンの棲む街 平塚おんな探偵の事件簿1	東川 篤哉	祥伝社	ヒガ
水族館の殺人	青崎 有吾	東京創元社	アオ
歳月がくれるもの まいにち、ごきげんさん	田辺 聖子	世界文化社	タナ
大本営発表のマイク 私の十五年戦争	近藤 富枝	河出書房新社	コン
ヘミングウェイの妻	ポーラ・マクレイン	新潮社	Fマク
世界を回せ (上・下)	コラム・マッキン	河出書房新社	Fマツ
ヘレナ	イヴリン・ウォー	文遊社	Fウオ
マグノリアの眠り	エヴァ・バルンスキー	岩波書店	Fバロ

図書館で薦めたい本のリストを作りました。

低学年には、絵本ややさしいおはなし、高学年・中学生には読みごたえのある物語を中心に、子どもたちに出会ってほしい本をリストにしました。



小学校低学年向

はたらきもののじよせつしゃけいていー
だれもかれも、なににもかも、じつとしていなければなりませんでした。
けれども、そのとき ただひとり……
けいていーは うごいていました。

大雷 ねずみのとうさんアナトール 100まんびきのねこ

チムともだちをたすける おさととぼうしうり ベニーさんと動物家族
じてんしゃにのるひとまねこさる ベレのあたらしいふく
おやすみなさいフランスス 海のおばけオーリー
あひるのピンぼけけん かもさんおとおり
スーザンのかくれんぼ おうさまパパー
はなのすきなうし どんごハリー

くりとくらのがいのすいよく おいせんが かえろうとすると、また
ポケットのないカンガルー もう一びき、しらくろの ねこが、め
つきました。 (100まんびきのねこ)

小学校高学年向

さあ、冒険へ！ 家族といっしょ、友だちといっしょ
ニルスのおしぎな旅 (上・下) 大草原の小さな家 たのしい川べ
ルーシーのぼうけん 秘密の花屋 (上・下) 牛追いのお
海へ出るつもりじゃなかった 若草物語
地下の洞穴の冒険 すえっ子のルーファス
小人ヘルヘのぼうけん 海べのおさ
チムとゆうがんなせんちょうさん ふうろ小路一番地
ホビットの冒険 寺町三丁目十一番地
名探偵カソレくん
地底旅行

ルーフアスは、ボールが、まじがラスをうちやぶるまえに、まじで、みごとにとりました。『すえっ子のルーファス』

ルーフアスは、ボールが、まじがラスをうちやぶるまえに、まじで、みごとにとりました。『すえっ子のルーファス』

【いれのかって？きみ、ボートの縁か、いれのか、たのしい！】




中学生向

ファンタジーの世界へ 動物とくらす

山のトムさん 石井綾子作
霧の中が黒くおぼろげで、しっぽがなければフクロウそっくりの子ねこが、トムと名づけられ、飼育家の家族に加わりました。(児童書) 岩波書店

ぼくとくらしのフクロウたち モワット作
「木から降りられない鳥の娘なんて、きいたことある？」ぼくと二羽のフクロウの物語。(児童書) 岩波書店


ドリトル先生航海記 ロフティン作
ドリトル先生は身長？センチもある巨大なカブトムシを手がかりに、ゆくえ不明の動物学者ロング・アローを探し出します。(児童書) 岩波書店

名犬ラッド ケー・ヒューン作
主人を絶対に関心、戦慄で、人間の気持ちをよく理解するラッドというコリー犬の物語。(児童書) 岩波書店

トムは真夜中の館で ピアス作
大時計が十三時を打った時、異音が広々とした館の扉に響き、トムはハティという少女に出会いました。(児童書) 岩波書店

妖精ディックのたがひ フリッグス作
家つき妖精のディックは、森に住む魔法マザー・グラクの企みに仲間と力を合わせて立ちます。(児童書) 岩波書店

王への手紙 (上・下) ドラフト作
ディックは16歳の見習い騎士。国の平安を左右する重大な手紙を託され、魔王のもとへ出発した彼に、送手が送ります。(児童書) 岩波書店



子どもたちには、学校を通して配布しています。リストは3種類ありますので、ご希望の方にはお分けします。

(西播磨公共図書館連絡協議会 編集・発行)

8月に入った児童書の新刊の一部を紹介します。

書名	著者名	出版社	請求記号
庭師の娘	ラウベ ジークフリート	岩波書店	物語ラ
世界の美術館・博物館 まるわかりガイド	カルチャーランド	メイツ出版	706 カ
古代アフリカ	シャーロー ヴィクトリア	BL出版	240 シ
旭山動物園 AR どうぶつ図鑑		東京書籍	480
宇宙探検えほん		小学館	538
風のローラースケート 山の童話	安房 直子	福音館書店	物語ア
ぼくらの大冒険ハンドブック	かざま りんぺい	日東書院本社	786 カ
星空のかかく	えびな みつる	旬報社	440 エ
おいしいよ！はじめてつくるかんこくりょうり	ペ ヨンヒ	福音館書店	596 チ
戦国 1000 人		世界文化社	280
遺跡から調べよう！1 旧石器・縄文時代	設楽 博己	童心社	210 シ
遺跡から調べよう！2 弥生時代	設楽 博己	童心社	210 シ
世界のあやとりがわかるたのしいあやとりチャレンジ	野口 廣	土屋書店	798 ノ

—太子町立図書館開館 30 周年記念講演会—
講演会「本の夢 本の力」

椎名 誠 氏 (作家)

『岳物語』(集英社)をはじめとする自作のこと、
数々の辺境地への旅から見えてきたもの、最近思う
ことなど、ご自由にお話しいただきます。

日時：9月29日(日) 13時30分から

場所：あすかホール 大ホール

入場無料・申込不要 手話通訳あり

休館のお知らせ

システム導入のため、10月1日(火)~31日(木)
は休館いたします。ご迷惑をおかけしますが、
ご了承ください。

9月18日(水)~30日(月)は、貸出期間を
6週間、貸出冊数を15冊にします。

10月休館中、月・火曜を除く水曜~日曜は図書
の返却のみ受け付けます(10:00~18:00)。

椎名誠氏プロフィール

1944年東京生まれ。1979年より小説、エッセイ、ルポ
などの作家活動に入る。主な作品は『犬の系譜』(講談社)、
『中国の鳥人』(新潮社)など。近著に『三匹のかいじゅう』
(集英社)。探検、冒険など旅の本も多数執筆。趣味は焚き
火キャンプ、どこか遠くへ行くこと。

9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9月・10月の移動図書館(いずれも木曜日です)

9月	10月	10:30 ~11:00	11:10 ~11:40	14:30 ~15:00	15:10 ~15:40	16:00 ~16:30
12日	10日	塚森 公民館		福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
19日	17日	岩見構下 公民館	岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲示板 前	原 太田東地 区農村交 流センター
26日	24日	広坂 公民館	上太田 公民館	沖代 地域内	吉福 公民館	太子ニ ュータ ウン 公民館

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

×印は休館、□印は午後1時まで開館。
開館は10時からです。
金曜日は午後8時まで開館しています。

地 下 水

図書館にいると利用者の「暑いね」の挨拶
に、「そうですね」と素直に返事を返せない。
開館前の掃除の時間や、移動図書館で外に出
ているとき以外は、ほぼ冷房のきいた館内で
過ごせる。仕事が終わりに、家に帰るころには
日も落ち、暑さも和らいでいる。一日中「暑
いね」を体感できるのは休日だけだ。

日にじりじりと焼かれず、家にいられるな
ら暑さもそれほど苦ではない。部屋には扇風
機も団扇もない。本を読み始めると、汗が背
中や顔をつつーと流れ、しばらくするとぐ
ったりと眠くなる。眠ると暑さに起こされる。
これを繰り返しながら本を読み進めるのが夏
の楽しみのひとつかもしれない。数年前は、
パール・バックの『大地』を読んだ。大作を
読み終えることと、日頃かくことのない汗を
大量に流せることと、どちらにより達成感を
感じたらう。

今年、休日のたびに姪と海や川にでかけ、
ゆっくり本を読むこともなかった。少し寂し
く思っていたところ、利用者Zさんが「これ
はよかった。是非」とアンデルセン作『即興
詩人』を返された。いま、手元に『即興詩人』
と『アンデルセン童話集』がある。まっさら
な物語のなかへ入れる期待とともに、大事な
空飛ぶトランクが燃えてしまったときの物悲
しさ、王様が手元におきたがったナイチンゲ
ールの鳴き声への憧れ、といった小学生の頃
に感じた懐かしい思いを同時に味わえると思
うと、わくわくしてくる。まだまだ、暑い。
休日にはじつくりと汗もかけそうだ。(竹内)